

平成 25 年度 学校法人尚絅学園事業計画書

．はじめに

尚絅学園は、3年前から実施してきた九品寺キャンパス再開発事業が平成 25 年 3 月に完了し、5 月 1 日には創立 125 周年記念日を迎えます。本年度は、言わば、次の飛躍に向けた重要な節目の時期にあたるといえます。この機会に、学園の現状と環境変化を十分踏まえて、学園の目指す将来像を自ら描き明らかにし、その達成に向けた中長期の行動指針を示すものとして、「長期ビジョン（将来像）と中長期行動計画」を策定しました。そのスタートの年となる本年度は、計画に則り全学的に教育内容の改革、学生・生徒の確保、地域との連携等のための具体策に取り組むとともに、財政基盤を着実に整備していく必要があります。

．主な施策

1. 学園全体・学校法人

(1) 安定的財政基盤の確立

重点施策	具体策
1. 収支の黒字化と安定的な施設設備資金積立の実現 (1) 収入支出の太宗を占める入学者人員及び教職員数を踏まえた適正人員モデルの構築と実施 (2) 部門別採算を重視した帰属収支改善策の策定と実施 (3) 財務指標に基づく予算編成及び予算決算の緻密な分析による比較検討と実施 (4) 収入の多様性を図るための新たな財源確保（外部資金研究費や寄附金など） (5) 遊休不動産の処分を含めた所有不動産等の活用方法の検討	学部学科の再編に伴う教職員数と学生定員の適正化の検討 部門別採算の精緻化と定員割れ部門の改善等の検討 概算要求における予算単位の再編と執行責任の明確化 予算管理の実態調査と管理体制の改善 科研費等、外部資金獲得方策の啓発とキャンパス事務局による申請事務等への積極的関与 125 周年記念事業としての寄附金募集と継続的活動の実施 校地以外の遊休不動産売却方法の検討

(2) 人事制度の改革

重点施策	具体策
1. 人事制度の確立と人材育成の仕組みづくりの実施	

(1) 人事評価制度の定着と適正運用による昇給昇格への反映	考課者訓練等による適正評価の実現 制度改善への継続的取組 昇格基準規程の運用開始
(2) 計画的な教職員採用と適材適所の配属及び互換性向上のための配置転換	教職員の退職動向の早期把握と採用計画への反映 人事評価制度を活用した人員配置と互換性向上のための能力向上施策の実施
(3) 人事情報システムの構築と職員の職能別・階層別研修などによる能力向上・育成プログラムの策定	人事情報システムの導入の検討 他学との交流促進と共同研修の検討
(4) 時間管理を含めた職場環境の改善	業務内容の見直しによる簡素化と重複業務の削減 業務分担見直しによる協力体制構築

(3) 組織・運営基盤の改革

重点施策	具体策
1. 学園の組織運営機能とガバナンスの強化 (1) 法人統括組織と各学校の管理機能の役割を明確化 (2) 学園広報の一元化と広報戦略の明確化 (3) 外部機関等の認証評価を参考に、PDCAサイクルによる組織運営への反映 (4) 同窓会・後援会・保護者会と各学校・法人との連携強化	法人としての総括管理と教学に関する施策実施の協議調整及び執行 事務部門会議による法人統括組織と各学校の役割分担の明確化と周知 学園事務局による広報予算（入試センターを除く）の一元管理と執行 学園広報の年間スケジュールと実施内容の見直し 第2期の新評価基準による自己点検の実施 平成26年度評価書作成の準備 同窓会・後援会・保護者会と、学校・法人との連携によるイベントの実施 (125周年記念事業、ホームカミングデイ等)

(4) キャンパス整備・学修環境の整備

重点施策	具体策
1. 学園キャンパスと学修環境の整備及び地域に開かれた学園の実現 (1) キャンパス整備計画の策定	両キャンパスの中長期的施設設備計画への着手 学生・教職員からの要望事項の聴取と反映方法

<p>(2) IT化推進策の策定</p> <p>(3) 法人統括本部と各キャンパス・各学校等管理組織との連携強化</p> <p>(4) 主要駅からの交通手段の見直しと導入</p> <p>(5) アリーナ、グラウンド、図書館等の利用・活用方法の検討</p> <p>(6) 寮やセミナーハウス等の利用活用方法の検討と実施</p>	<p>の策定</p> <p>サーバーを含めたITネットワークの再構築</p> <p>Webページの更新と充実</p> <p>学園全体に係るガバナンス体制の確立とスピード化</p> <p>事務部門会議等における情報共有化と連携強化</p> <p>最寄駅から楡木キャンパスへの最適な交通手段の再検討</p> <p>アリーナの学外利用を含めた活用方法の検討</p> <p>図書館の市民開放とその問題点の検討</p> <p>如蘭学寮の入居者促進方法の検討</p> <p>ドーミー熊本寮の入居者促進方法の検討と有効利用方策の実施</p> <p>尚綱学舎の活用状況の把握と今後の利用促進策の策定</p>
--	---

2. 尚綱大学・尚綱大学短期大学部

(1) 教育内容の改革と尚綱らしさの追及

重点施策	具体策
<p>1. 学部、学科の改革による入学定員確保</p> <p>(1) 文化言語学部の改組と検証</p> <p>(2) 総合生活学科の改組と検証</p> <p>2. 新設学部・学科・大学院の検討</p> <p>(1) 受験生のニーズや社会の状況を考慮し、学部・学科・大学院の新設を検討</p> <p>3. キャリア教育の実施と尚綱の教育理念の浸透</p> <p>(1) 建学の精神を盛り込んだカリキュラムの導入</p> <p>4. 幼児教育の改革論議(いわゆる幼保一体化)を踏まえ、今後、保育所や認定こども園などへの参入を計画</p>	<p>平成 26 年度入学定員の確保</p> <p>WGを組織し、改組について検討</p> <p>平成 26 年度入学定員の確保</p> <p>WGを組織し、改組について検討</p> <p>ニーズを評価した上でWGを組織し、検討開始</p> <p>科目の新設とキャリア教育内容の検討</p> <p>基礎セミナーやフレッシューズセミナー等において「建学の精神・尚綱の教育理念」についての授業実施</p>

<p>(1) 保育園や認定こども園新設の研究</p> <p>(2) 子育て研究センターの改組と研究強化</p> <p>5. 東アジアを中心とする大学との提携を推進</p> <p>(1) 東アジア諸国との大学間交流協定締結の推進</p> <p>6. サークル活動の活性化</p> <p>(1) 学生に意見を求め、サークル活動・ボランティア活動の活性化を支援</p> <p>7. 大学・短期大学部において、第三者評価への適切な対応</p> <p>(1) 平成26年度に大学・短期大学部とも、自己点検評価報告書を作成</p>	<p>保育園や認定子ども園について鋭意検討</p> <p>子育ての専門領域に関し、全学的見地からの研究</p> <p>韓国の大学との交流協定の検討</p> <p>中国の大学との交流の推進</p> <p>アンケート調査を実施し、具体策を検討</p> <p>評価基準項目を満たすための目標を設定し、実施</p>
---	---

(2) 教育指導力の向上

重点施策	具体策
<p>1. FD活動の一層の充実</p> <p>(1) 授業改善と授業公開制度の推進</p>	<p>学生の授業評価方法の再検討と授業改善</p> <p>授業公開科目を拡大</p>

(3) 学習意欲あふれる学生の確保

重点施策	具体策
<p>1. 多様化した学生に対処した教育の一層の強化</p> <p>(1) 文化言語学部のゼミナール制導入</p> <p>(2) 基礎的な教育の充実や習熟度別授業の強化</p>	<p>26年度からの導入について具体策を検討</p> <p>基礎セミナー等の充実</p> <p>現状の教員で可能な実施方法について検討し、それらの実施に努力</p> <p>教養教育科目の統廃合の検討に着手</p> <p>短大部における習熟度別授業の強化について、既実施の学科において効果を検証</p>
<p>2. 国家試験の合格率の向上</p> <p>(1) 国試合格率のさらなる向上</p>	<p>3年次からの国試対策特別講座、栄養士実力認定試験対策講座などを今後も継続的に強化</p>
<p>3. 出前授業、体験的な授業、オープンキャンパス、入試の強化</p>	

<p>(1) 高大連携の積極的展開</p> <p>(2) 入試広報戦略の強化</p> <p>(3) 入試における県外受験地の設定</p> <p>4. 同窓会・後援会との連携推進</p> <p>(1) 大学情報の提供と受験者情報の収集</p>	<p>入学前指導の充実</p> <p>熊本県内外の高校への出前授業、進学ガイダンス、オープンキャンパス、尚綱祭にて、本学の魅力を高校生に引き続き発信し、尚綱高校に対しては本学部での研究の一端も紹介</p> <p>尚綱高校3年生について文化言語学部及び短期大学部総合生活学科の教員による高校での授業実施</p> <p>県内外の高校からの出前授業や学部紹介依頼に対応し、尚綱大学及び尚綱大学短期大学部の強み、専門性を分かりやすく説明</p> <p>今までの受験実績を踏まえ、鹿児島市及び宮崎市において一般入試を実施</p> <p>ホームカミングデイ等を通じ、大学情報の提供と受験者情報の収集</p>
--	---

(4) 学生支援活動

重点施策	具体策
<p>1. 奨学金制度、表彰制度の整備</p> <p>(1) 現行制度の見直し</p> <p>2. 学生に対する健康相談、心的支援の強化</p> <p>(1) 学生生活の心身面の支援充実</p> <p>3. 就職支援の充実</p> <p>(1) 全学的就職支援体制の強化</p> <p>(2) 資格教育を担うエクステンションセンターの設置</p>	<p>学生支援のあり方を含め、有効な奨学制度について一定の成案策定</p> <p>短期大学部幼児教育学科で行っている特別支援システムを大学・短期大学部全体で共有することを検討</p> <p>すでに全学的な組織として就職支援委員会が機能しているが、キャリアガイダンスや就職懇談会など一層充実させることを検討</p> <p>エクステンションセンターの内容について検討</p>

(5) 研究・指導力向上のための支援

重点施策	具体策
<p>1. 研究費の配分の適正化</p> <p>(1) 研究費配分方法の見直し</p>	<p>研究費予算を効率的に配分する必要があるの</p>

<p>2. 研究センターの新設 (1) 「尚綱大学総合研究センター」の設立</p>	<p>で、より緻密な査定を実施</p> <p>大学・短大部で、研究環境の整備・充実、外部研究資金獲得強化、研究成果の情報発信などをサポートする総合研究センターの設立について検討</p>
--	--

(6) 地域連携を視野に入れた教育・研究の推進

重点施策	具体策
<p>1. 地域との教育・研究の推進 (1) 地域連携の推進・強化</p> <p>(2) リカレント教育の充実</p> <p>2. 地域に開かれた研究拠点ということを表明していく</p> <p>(1) 講演会、公開講座等の充実</p> <p>(2) 図書館の地域への開放</p>	<p>県・市町村行政機関や公的機関などとの意見交換会、協議会に積極的に参加し、地域への貢献を強化</p> <p>大学コンソーシアム熊本での連携推進に引き続き取り組み、地域の活性化に貢献</p> <p>総合生活学科において介護福祉士受験対策講座などを実施</p> <p>食物栄養学科において管理栄養士国家試験対策講座を継続実施</p> <p>幼児教育学科において保育士や幼稚園教諭を対象とするサマーセミナー等を実施</p> <p>菊陽町主催「大学公開講座」への参加</p> <p>「第7回尚綱大学文化言語学部公開講座」の充実</p> <p>地域からの食に関連する講演会、研修会、相談会等の要望に対し、積極的に応じることで、地域の食育啓発活動に貢献</p> <p>公開講座の受講生を対象とした利用及び地域住民の方々の利用を検討</p>

3. 尚綱中学・高等学校

(1) 教育内容の改革と尚綱らしさの追及

重点施策	具体策
------	-----

<p>1. グローバル化に即した海外修学旅行・研修・国際交流の推進</p> <p>(1) 海外修学旅行の実施</p> <p>2. 基礎学力の確立</p> <p>(1) 総合コースの全員課外授業の実施</p> <p>(2) 小論文指導の強化</p> <p>(3) 尚綱塾、尚綱ゼミの結果検証と再構築</p> <p>(4) 自学・自習の習慣化</p> <p>(5) 進路情報の収集・分析・研修と生徒保護者への情報提供の徹底</p> <p>3. カリキュラムの検討及びコースの再編</p> <p>(1) カリキュラムの検討</p> <p>(2) 総合コースの再編</p> <p>4. 中高大連携の推進</p> <p>(1) 中高一貫の高校カリキュラム、クラス編成の策定</p> <p>(2) 中高大連携教育の推進による特色化・差別化の確立</p> <p>(3) 学園内進学における入試制度の改革</p> <p>(4) 中高大職員の人事の交流と組織の連携</p> <p>(5) 中高大の学生・生徒の交流と組織の連携</p> <p>5. 人間教育プログラムの再構築</p> <p>(1) 諸活動の総合的・計画的な年間計画の策定と実施の推進</p> <p>(2) 外部組織や人材を活用</p> <p>6. 部活動の推進と進路保障</p> <p>(1) 練習場、部室の確保と環境整備</p> <p>(2) 部活動の実態把握と統廃合の推進</p> <p>(3) 部活動実績を活かした推薦入試・AO入試等の活用による進学の推進</p> <p>(4) 中体連・高体連大会で全国上位入賞を達成</p>	<p>中学校の海外（シンガポール）修学旅行実施 高校修学旅行（海外を含む）の検討と計画案策定</p> <p>実施方法を検討し計画案を策定 生徒保護者への説明会を実施して試行 4月中に計画立案し5月から実施 過去3年間の実施内容・方法等の検証 26年度の実施計画案の策定 4月から実施して、学期ごとに検証 情報の収集と分析 情報提供の手段を検討し実施</p> <p>定期的に検討委員会で検討 現制度の検証 次年度以降の新編成案を策定</p> <p>カリキュラム・クラス編成案を策定 生徒保護者への説明会の開催 中高大連携による出前講義の開催 中高大連携による授業の実施 高大連携推進協議にて協議 高大連携推進協議にて協議 学生・生徒間で協議</p> <p>年間計画の立案 各部・各学年で計画案に則って実施 年間計画の立案 各部・各学年で計画に則って実施</p> <p>顧問会議で検討して着手 生徒会議で審議して統廃合を実施 推薦入試・AO入試情報の収集と分析及び部顧問・担任への情報の提供 部生徒・保護者への進路指導の徹底 練習の質と量を確保</p>
---	--

<p>する</p> <p>7. ボランティア活動の推進</p> <p>(1) ボランティア委員会の設置</p> <p>(2) 活動計画に則った活動の推進</p> <p>(3) 全校生徒への活動の波及と啓蒙</p>	<p>優秀なスポーツ特待生勧誘の推進</p> <p>生徒組織の見直しとボランティア委員会の設置</p> <p>年間計画の立案と活動の推進</p> <p>学校行事・長期休業期間等を活用した活動の推進</p>
--	--

(2) 学習意欲あふれる生徒の確保

重点施策	具体策
<p>1. 女子教育の長所・強みの広報活動の推進</p> <p>(1) 女子教育の長所、強みの広報の徹底</p> <p>2. 対外行事の内容及び広報活動の見直し</p> <p>(1) 実施内容の検証と再構築</p> <p>(2) 広報活動の強化</p> <p>(3) 記録保存の徹底</p> <p>3. 広報活動の推進</p> <p>(1) 担当職員配置による恒常的な小中学校・塾訪問活動の実施</p> <p>(2) 全学園、中高合同、中高別の広報活動の再構築</p> <p>(3) 広報担当者のスキルアップ</p> <p>4. 育友会との連携強化</p> <p>(1) 地区会開催地区の拡大と内容の充実</p> <p>(2) 学園情報の提供と受験者情報収集</p> <p>5. 同窓会・後援会との連携推進</p> <p>(1) 同窓会会員の掘り起こし支援と各地の支部総会への出席の推進</p> <p>(2) 学園情報の提供と受験者情報の収集</p>	<p>4月中に案を策定し5月以降に活動</p> <p>行事検討委員会で検証し見直し案を作成</p> <p>広報活動を推進</p> <p>責任者・保管場所・保存方法を定めて保管</p> <p>担当職員を配置</p> <p>活動計画を策定し実施</p> <p>学園広報委員会との連携強化</p> <p>中高独自・単独の広報活動計画の策定</p> <p>外部講師による研修会の開催</p> <p>保護者役員と連携をとり企画立案</p> <p>育友会・花桜会の協力を得て24年度を上回る地区数での地区会の開催</p> <p>学園ホームページ広報誌・新聞・学校行事・地区会・育友会役員会等の活用</p> <p>説明会・訪問活動の活用</p> <p>ホームカミングデイの活用</p> <p>過年度を含む卒業生の情報を提供</p> <p>各地の支部総会への出席</p> <p>総会・学校行事等の活用</p> <p>ホームカミングデイの活用</p>

(3) 生徒支援改革

重点施策	具体策
------	-----

<p>1. 特待生、奨学生制度、表彰制度の改革</p> <p>(1) 現行制度の見直し</p> <p>2. 進路相談、カウンセリングの充実</p> <p>(1) 生徒、保護者のカウンセリングの強化</p> <p>(2) 学校外の組織、人的支援の活用</p> <p>(3) 不登校傾向生徒の保護者を対象とした定期的な学習会の開催</p> <p>(4) 進路関係情報の周知と相談の徹底</p>	<p>学園事務局に中高案を提出</p> <p>保健委員会で検討し年間計画を策定 年間計画に則って実施</p> <p>県の補助事業等を活用</p> <p>保健委員会で検討し年間計画を策定 年間計画に則って実施</p> <p>実施内容・効果の検証の実施</p> <p>情報収集・分析と情報提供の方策検討</p> <p>保護者会・懇談会・個人面談等での情報提供</p>
--	---

(4) 教育指導力向上のための支援

重点施策	具体策
<p>1. 指導力向上の為に組織的、計画的な研修を推進し研修内容の共有化と実践の督励</p> <p>(1) 職員研修の推進と研修内容の共有化</p> <p>(2) 研修後の実践の徹底</p> <p>(3) 各部会、各学年、各教会等におけるリーダーの養成</p>	<p>年間計画の立案</p> <p>年間計画に則った研修の実施</p> <p>研修報告・研修会復講・研修内容資料配付の徹底</p> <p>実践報告の制度化</p> <p>リーダー研修会への派遣</p> <p>校内でのリーダー研修会の開催</p>

(5) 地域連携を視野に入れた指導力向上の研修の推進

重点施策	具体策
<p>1. 地域の諸活動の支援とボランティア活動の推進</p> <p>(1) 合同練習会開催の推進</p> <p>(2) ボランティア活動の推進</p>	<p>剣道・バスケット・バレーボール・卓球・ソフトテニス部による外部団体との合同練習会での指導助言</p> <p>各種ボランティア活動への派遣</p>

4. 尚絅大学短期大学部附属幼稚園

(1) 教育内容の改革と尚絅らしさの追及

重点施策	具体策
1. 特色ある幼稚園づくり (1) 豊かな自然環境を生かした教育 (2) 動植物を活かした造形教育 (3) 豊かな心をはぐくむ絵本教育 (4) 国際理解教育 (5) 環境教育 (6) 安全教育 2. 特別支援教育	園内の地形を利用した運動遊びの工夫 九州幼年美術の会において実践発表 絵本読み聞かせ活動の実施 外国人を招き園児との触れ合い遊びの実施 雨水タンク利用による栽培活動の実施 自然の中の危険を回避する指導の実施 ケース検討会議開催

(2) 園児の確保

重点施策	具体策
1. 教育環境の整備 (1) 魅力ある自然環境づくり (2) 預かり保育増員の検討 (3) 給食の検討 (4) 広報活動の充実 2. 認定こども園の検討	自然環境づくりに定評のある他園の情報収集 保護者等へのニーズ調査の実施 保護者等へのニーズ調査の実施 広報誌の検討 住宅状況を考慮したバスコース見直し検討 「子ども・子育て関連3法」及び今後の幼稚園のあり方について検討

(3) 保護者支援改革

重点施策	具体策
1. 子育て支援 (1) 親の学び講座 (2) 教育相談事業	保護者に対する講演会開催 「おしゃべり広場」事業の実施(子育て相談) 本大学教員によるスクールカウンセラー検討

(4) 指導力向上のための支援

重点施策	具体策
1. 研修の充実 (1) 園内研修・園外研修 (2) 実習指導 (3) 新人研修	研究保育等による研修の実施 実習生研究保育の指導計画の検討 園内外での研修の実施

(5) 地域連携を視野に入れた指導力向上の研修の推進

重点施策	具体策
1．地域連携活動 (1) 未就園児親子登園 (2) 小中高との連携	「おいでおいで」の会開催（地域子育て支援） 中高生による職場体験の実施 幼小連携活動の推進